

やんツー 作品集

「yang02 works 2009-2022」

この度、rin art association は、やんツー初の作品集「yang02 works 2009-2022」を刊行いたします。

本書には、作家の言葉とともに 2009 年から現在までに発表された 25 シリーズに亘る作品群が収められ、活動の変遷を辿る内容となっております。

論考は、畠中実氏（NTT コミュニケーション・センター [ICC] 主任学芸員）による「やんツーの作品について — 批評的に捉え返されるデジタル・テクノロジー以後の問題」、及び小田原のどか氏（彫刻家、評論家）による「運動を描くヒトへの遡行」を収録。



「yang02 works 2009-2022」

著者：やんツー
執筆：畠中実、小田原のどか
編集：小野冬黄
ブックデザイン：小池俊起
発売日：2023年1月20日
仕様：A4変型（200×287mm）
178p、バインダー製本
発売元：rin art association
定価：4,500円＋税



やんツー (yang02)

1984年神奈川県生まれ。2009年多摩美術大学大学院デザイン専攻情報デザイン研究領域修了。京都精華大学教員。

デジタルメディアを基盤に、行為の主体を自律型装置や外的要因に委ねることで人間の身体性を焙り出し、表現の主体性の問う作品を多く制作する。

文化庁メディア芸術祭アート部門にて「SENSELESS DRAWING BOT」が第15回で新人賞、「Avatars」が第21回で優秀賞を受賞（共に菅野創との共作）。2013年、新進芸術家海外研修制度に採択され、バルセロナとベルリンに滞在。近年の主な展覧会に「札幌国際芸術札 2014」（チ・カ・ホ、2014年）、「あいちトリエンナーレ 2016」（愛知県美術館、2016年）、「Vanishing Mesh」（山口情報芸術センター [YCAM]、2017年）、「DOMANI・明日展」（国立新美術館、2018年）、「Art Meets 06」（アーツ前橋、2019年）、「六本木クロッシング 2022 展：往来オーライ！」（盛美術館、2022-2023年）等がある。<http://yang02.com>